

2022年12月4日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第65巻第34号(通算3316号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさま ひととも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、  
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



## 待降節 第2主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしょうめつ  
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しょう  
招きの詞 イザヤ書 55章 9節

さん び か ばん しゅ ま のぞ せつ  
賛美歌 21-242番「主を待ち望むアドヴェント」(1-2節)(©JASRAC)

てんとう せつ  
クランツ点灯のことば 点灯者

せい しょ ふういんしょ しょう せつ  
聖 書 ルカによる福音書 4章 14-22節

いの ばん ひさ ま さん び かかいていいんかい  
お 祈り 賛美歌 21-231番「久しく待ちにし」(©讚美歌改訂委員会)

て なか うしだ ただし ぼくし  
メッセージ 「パスポートはあなたの手の中に」 牛田 匡 牧師

さん び か ばん ばん あす せつ  
賛美歌 21-244番「キリストは明日おいでになる」(©JASRAC)

ユーカーリスト うしだ ただし ぼくし  
聖 餐 牛田 匡 牧師

きょうどう いの へいわ  
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さん び か ばん な ちよさくけんしょうめつ  
賛美歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの  
主の祈り

ささげもの  
献 げ 物 (\*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅ く ふく うしだ ただし ぼくし  
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちよさくけんしょうめつ  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

う こ べいじ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物 (献金)」は、ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 イザヤ書 55章 9節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

天が地よりも高いように  
私の道はあなたがたの道より高く  
私の思いはあなたがたの思いより高い。

### クランツ点灯のことば

神様、今、私たちは2本目のろうそくを灯して礼拝をします。神様が長い間、一人一人を大切に、守り続けて下さったことを、聖書は証しています。神様の約束は、必ず成し遂げられると信じます。どうぞ、全ての人々の救い主イエスを、私たちの所に遣わして下さい。

聖書 ルカによる福音書 4章 14-22節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

14 イエスが霊の力に満ちてガリラヤに帰られると、その噂が周り一帯に広まった。15 イエスは諸会堂で教え、皆から称賛を受けられた。

16 それから、イエスはご自分の育ったナザレに行き、いつものとおりに安息日に会堂に入り、朗読しようとしてお立ちになった。17 預言者イザヤの巻物が手渡されたので、それを開いて、こう書いてある箇所を見つけられた。

18 「主の霊が私に臨んだ。

貧しい人に福音を告げ知らせるために  
主が私に油を注がれたからである。  
主が私を遣わされたのは  
捕らわれている人に解放を  
目の見えない人に視力の回復を告げ  
打ちひしがれている人を自由にし



19 主の恵みの年を告げるためである。」(イザヤ 61:1-2)

20 イエスは巻物を巻き、係の者に返して座られた。会堂にいる皆の目がイエスに注がれた。21 そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。22 皆はイエスを褒め、その口から出て来る恵みの言葉に驚いて言った。「この人はヨセフの子ではないか。」

(脚注 a: 直訳「主に受け入れられる年」)

## 《先週のメッセージより》2022年11月27日 第1アドベント礼拝

メッセージ「物に頼るでもなく、人に頼るでもなく」より 牛田匡牧師

聖書 ヤコブの手紙 5章1-11節

聖書に書かれている約2000年前の世界も、現代と同じように格差のひどい社会で、大商人や大地主たちが、たくさんの農民たちから土地、労働力と生産物を搾取していました。そのような状況下で、この手紙は富をむさぼった金持ちたちに、「世の終わりの日には、あなたたちは厳しく裁かれるだろう」と警告を發しています。さらに搾取され、虐げられている人たちに向けては「農夫が、収穫の時にじっくりと忍耐して待ち続けるように、主が再び来られる終わりの時まで忍耐しなさい」と語られています。しかし、ひたすら忍耐して努力をしても、必ずしも豊作になるとは限らないのが農業です。ここで言われている「忍耐しなさい」とは、「めげることなく、気を長く持って、心をぐらつかせない」ということです。

「主が来られる日」「再臨の日」と訳されている元々の言葉の意味は、もっと素朴に「そばにいる」です。自然災害や天変地異、戦争や混乱する社会情勢など、時に世の終わりを感じさせられる時代の中ですが、神様は「いつか来られる」のではなく、もう既に来られていて私たちのすぐ「そばにいる」というのです。生活が苦しくなればなるほど、私たちは目の前の問題の即時解決を望みます。もちろん私たちには食べ物も着る物も休む場所も不可欠ですから、それらは必要ですが、それだけで私たちの命、霊が満たされるわけでもありません。私たちが満たされた命を生きるためには、物に頼るのでもなく、人に頼るのでもなく、自分自身が神様から目的を与えられ生かされている命であることに気づくこと、今もすぐそばにおられて、絶えず支えてくださっている神様がいるということに信頼することなのではないでしょうか。

神様はいつの日か、雲に乗ってやって来られる方ではなく、2000年前のクリスマスに最も弱い存在として、人間の赤ちゃんとなって家畜小屋の飼料桶の中という社会の片隅で世に来られました。それは2000年を経た今でも、神様はこの社会の最も暗くされた片隅に働かれるということ、神様は私たち一人一人の人間の手を通して働かれるということを示しています。命の神は、イエス・キリストとしてもう既に来られ、十字架の死から引き起こされて、今もすべての人と共におられます。だからこそ、私たちは困難があっても、諦めたり、投げ出したりせずに、めげずに立ち続けていくことが出来るのだと思います。そのような神様と共にあって、私たちは今日もここから歩み出していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 11月27日

主日礼拝出席 大人4名 こども2名 中継動画再生数 6回  
 献金 大人3,000円 こども200円 感謝

礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂のための「おにぎり支援」として、172個のおにぎりを作って、お届けしてお配りすることができました。どうもありがとうございました。

◎ 次週 2022年12月11日(日) <sup>アドベント</sup>待降節第3主日礼拝

招きの詞 ゼファニヤ書 3章 14-15節  
 聖書 テサロニケの信徒への手紙 I 5章 16-24節  
 メッセージ 「聖なる者とされる」水谷憲牧師



賛美歌 21-242番(©JASRAC)、21-497番(©JASRAC)、21-396番(©JASRAC)

クリスマスを待ち望む「待降節(アドベント)」に入り、毎週の礼拝の中でアドベント・クランツのろうそくに、一本ずつ火が灯されていきます。礼拝はインターネットで中継いたします。

◎ お知らせ

- ・本日の礼拝後に、礼拝後に、11・12月期の「教会を考える会」を行う予定です。
- ・今年度の「クリスマス献金」を集めています(年内いっぱい)。献金先は本日の「教会を考える会」で確定します。
- ・今年度のクリスマスカード・ポスターを、今日から発送・掲示する予定です。(イラスト・デザインは  さんが手がけてくださいました)。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続き、大阪府の新型コロナ警戒信号は「黄色」になっています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧頂くことも可能です。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/11	水谷牧師	第3アドベント礼拝 (第二好意の庭クリスマス会・牛田牧師)
12/18	岡嶋伝道師	第4アドベント礼拝・聖書を読む会?
12/25	牛田牧師	クリスマス礼拝・誕生者祝福式 (前日24日にお弁当支援をするため、教会でのおにぎり支援はありません)
1/1	牛田牧師	新年礼拝・ユーカリスト